

注 意 報

各関係機関長 殿

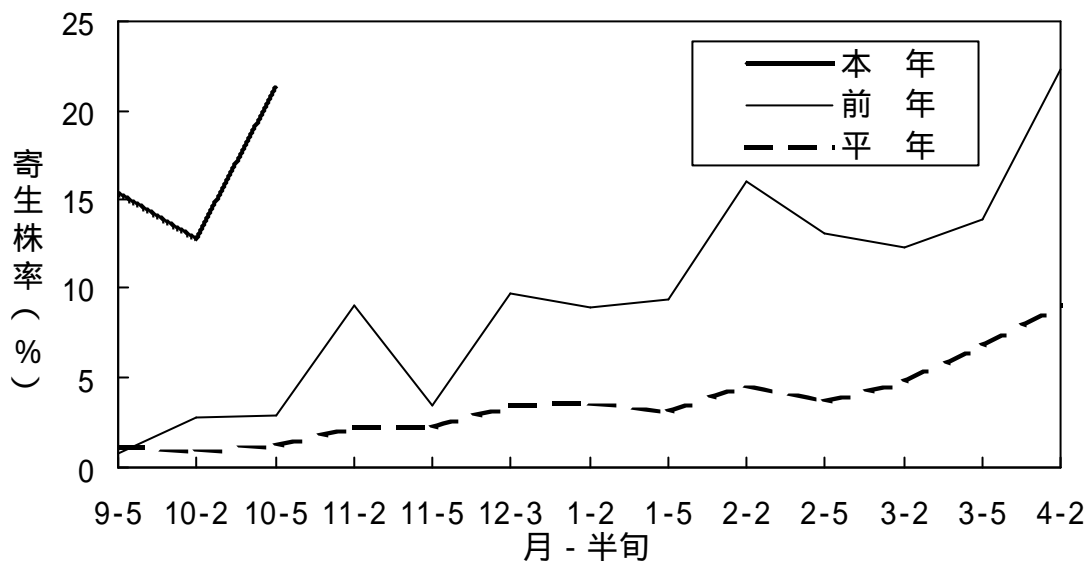
福岡県病害虫防除所長

平成17年度病害虫発生予察注意報第4号について

このことについて、以下のとおり送付します。

平成17年度病害虫発生予察注意報第4号

- 1 対象作物 イチゴ
- 2 病害虫名 ハダニ類
- 3 発生地域 県全域
- 4 発生程度 多い
- 5 発生状況
 - ア 定植直後から発生が多く、10月2半旬の調査では、寄生株率は12.7%（平成：0.9%、前年：2.8%）で、発生ほ場率は64%（前年：11.5%）、10月5半旬の調査では、寄生株率は21.4%（平成：1.2%、前年：2.9%）で、発生ほ場率は60.0%（前年：18.5%）となっている。
 - イ 気象予報では、11月の平均気温は平成並か高いと予想されており、今後も発生は増加することが予想される。
- 6 防除上注意すべき事項
 - ア 多発生後は防除が困難となるので、発生をみたら直ちに防除を行う。
 - イ イチゴ以外の植物にも寄生するので、ほ場周辺の雑草等の防除や除草を行う。
 - ウ 寄生した株のかぎ取った下葉や除草した雑草は、ほ場周辺に放置せず速やかにビニル袋等に入れて密閉し処分する。
 - エ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。
 - オ 薬剤によっては、ミツバチへの影響があるので薬剤の選定に当たっては注意する。
 - カ 薬剤防除については、使用基準を守り危被害防止に努める。



イチゴにおけるハダニの寄生株率

表 イチゴの主要なダニ防除剤の作用特性表

薬剤名	作用機作	毒性		効果の発現		防除効果				備考
		経口	接触	殺虫	加害停止	成虫	産下卵*	卵	ふ化虫	
コロマイト水和剤	神経毒			即効						チリカブリに影響なし
マイトコーネフロアブル	不明			やや遅効 (3~4日)						
バロックフロアブル	脱皮阻害			遅効		×				
ピラニカEW	不明			即効						
ニッソラン水和剤	脱皮阻害			遅効		×				
オサダンフロアブル	呼吸阻害		×	やや遅効 (3~4日)			×	×		チリカブリに影響なし チリカブリに影響なし 薬液乾燥後のチリカブリ放飼は影響なし
粘着くん	窒息	×		即効			×	×		
アカリタッチ	窒息	×		即効			×	×		チリカブリに影響なし 2000倍で使用

* 散布後に産下された卵がふ化しない。